

附属書 5 : その他の情報源

UNECE ウェブサイト

国連 GHS 専門家小委員会 (Subcommittee of Experts on the GHS、UNSCEGHS) の事務局は、UNECE にある。www.unece.org

UNSCEGHS と UNSECTDG は、CETDGGHS の傘下にある。これらのグループは、CNECE の危険物輸送部の中に含まれている。www.unece.org/trans/danger/danger.htm

UNECE GHS のウェブサイトから、GHS パープルブックの最新版にアクセスできる。

www.unece.org/trans/danger/publi/ghs/ghs_rev03/03files_e.html

IOMC : GHS 実施の移行期間にある各国を支援する

GHS の実施を支援する化学品の適正管理のための国際機関間プログラム (Inter-Organization Programme for the Sound Management of Chemicals) (IOMC) の目的は、各国の GHS 準備・実施 (分類と表示、危険有害性の情報伝達、SDS を適宜含む) を支援するため IOMC ツールとリソースを特定することである。この文書は、www2.unitar.org/cwm/publications/cw/ghs/IOMC_GHS_Guide_Nov_08_Final.pdf で閲覧できる。

WSSD 世界 GHS パートナリシップ年次報告書

毎年、UNITAR、ILO および OCED は、*WSSD GHS 実施のための能力強化世界パートナーシップ (Global Partnership for Capacity Building to Implement the GHS)* の枠組みの中で、その年の GHS 関連の活動と、将来の方向性の提案をまとめた年次報告書を発行している。この報告書は www2.unitar.org/cwm/ghs_partnership/annualreports.htm で閲覧できる。

GHS 専門家登録簿

WSSD 世界 GHS 専門家登録簿 (Global GHS Roster of Experts) は、GHS に関係する専門知識を持つ個人のデータベースである。掲載された専門家たちは、特定のセクターまたは地理的地域 (またはその両方) における GHS 分類・表示・安全データシートの適用に関して、訓練・能力強化にその力を借りることができる。このリストへの掲載は立候補によるものであり、個人的な能力の範囲に限定される。掲載された専門家は、必ずしもそれぞれの組織の正式な代表ではなく、このパートナーシップによる認定を受けているわけではない。データベースに掲載された専門家の全体を一覧したり、専門知識の種類・地理的関心・言語能力などの基準で検索したりすることができる。GHS 専門家登録簿は、www.unitar.org/cwm/ghs_partnership/expertroster.htm で閲覧できる。

ラベルおよび SDS 作成の情報源

ラベルおよび SDS の作成のための情報源は多数ある。どのラベル要素がどの危険有害性カテゴリーに当てはまるかを示した分類・表示リストが、国内の化学品危険有害性情報伝達システムに掲

載されている場合もある。ラベル作成に必要な分類情報は、オンラインデータベースでも検索可能で、化学名やケミカル・アブストラクツ・サービス（CAS）番号でも検索できる場合が多い。

妥当性が確認された（すなわち査読を受けた）情報源の一つが、国際化学物質安全性カード（International Chemical Safety Cards、ICSC）で、国際化学物質安全性計画（International Programme on Chemical Safety、IPCS）から入手できる¹⁷。ICSCは、工場、農業、建設、その他の作業場所での「現場」レベルで、作業者と事業主が使用するための化学品に関する健康と安全に関する基本的な情報をまとめたものである。ICSCは法的に拘束力のある文書ではないが、多数の基準的な表現を掲載しており、主に健康・安全情報を収集し、妥当性の確認を行い、国際的に認知された専門家が査読したものをまとめている。製造企業および中毒管理センターからの助言も考慮している。

オンライン上 www.ilo.org/public/english/protection/safework/cis/products/icsc では、1,400 件以上の ICSC が 16 の言語で利用できる。

GHS 自体には、物質または混合物の試験の要件は含まれていない。したがって、GHS の下では、危険有害性の分類について試験データを生成する義務はない。一部の規制システムではデータの生成を求めていることが知られている（例：農薬）が、その要件は GHS と特に関係はない。混合物の分類について定める基準は、その混合物自体または類似の混合物（およびその両方）に利用できるデータ、または混合物の原材料についてのデータ（およびその両方）を使用することが認められる。

有害性を判断する試験は、国際的に認知された科学原則に従って行われる限り、健康と環境有害性の判定の目的で使用することができる。健康および環境に対する有害性を判定する GHS の基準は、試験方法については中立的である。科学的に適切で、かつ当該の有害性について、既存のシステムの中で既に言及されている国際的な手順と基準に沿って妥当性が確認され、相互に許容できるデータを生成する限り、様々なアプローチが許容されている。物理化学的危険性を判定する試験方法は、一般的により明白で、GHS の中でも規定されている。

国際化学物質管理ツールキット：GHS の実用化

国際化学物質管理ツールキット（International Chemical Control Toolkit、ICCT）は、作業場にある有害・危険な化学品に対する保護の枠組みをまとめたもので、開発途上国の中小企業を意図して作成されている。ICCT のウェブサイト www.ilo.org/legacy/english/protection/safework/ctrl_banding/toolkit/icct/index.htm では、特定の状況下での物質の安全な取り扱いについて、関連の指示（ガイダンスシート）を検出するための 5 段階のプロセスが説明されている。

UNITAR GHS CD-ROM

化学品の危険有害性情報伝達および GHS の実施に関連した、リソース文書の参照を求める声が大きくなっていることを受けて、UNITAR は GHS 関連資料の CD-ROM を作成した。このリソ

¹⁷ ICSC と SDS の見出しには重大な類似性があるが、それでも全く同じではない。SDS は重要な健康・安全性情報の基本的な情報源であるが、多くの例で、技術的に複雑になりがちである。一方、ICSC は、重要データを査読してまとめたものである。作業者には、現場で使用する正確な化学品とその性質、および特定の作業場で生じるリスクについての情報が必要であり、ICSC は SDS の代わりにはならない。ただし、ICSC は SDS 作成に役立つ情報源として考えることはできる。ICSC の基準と危険性情報も、徐々に GHS と足並みをそろえつつある。

ースは、UNITAR/ILO GHS 能力強化プログラムの背景で、WSSD GHS 実施のための能力強化世界パートナーシップ (*Global Partnership for Capacity Building to Implement the GHS*) に貢献するものとして作成された。CD-ROM 資料はすべて、インターネット上 www.unitar.org/cwm/ghs_library/ でアクセス可能である。また、この CD-ROM のコピーの入手は、UNITAR に連絡のこと。



unitar

United Nations Institute for Training and Research

国連訓練調査研究所（United Nations Institute for Training and Research、UNITAR）は、1965年に設立された国連内の自治機関。適切な訓練および調査を通じ、国連の有効性を強化する目的を持っている。UNITARは評議委員会によって運営され、事務局長が統括する。本研究所は各国政府、政府間組織、基金および非政府組織からの自発的な寄付によって支援されている。



国際労働機関（International Labour Organization、ILO）は、社会的正義および国際的に認識された人権と労働の権利の推進を追求する、国連の特別機関である。1919年に設立され、国際連盟を創設したベルサイユ条約によって作られた主な組織のうち、唯一現存する組織である。1946年に、国際連合の最初の専門機関となった。ILOは国際的な労働基準を策定、技術援助を提供し、独立した雇用主および労働者の組織化を推進し、さらにこれらの組織に訓練と助言活動を提供する。ILOは、労働者と雇用主が対等のパートナーとして各国政府とともに各運営組織の取り組みに参画するという、国連のシステムの中でも独自の三者構成を有している。



unitar

United Nations Institute for Training and Research

United Nations Institute for Training and Research
Institut des Nations Unies pour la Formation et la Recherche
Instituto de las Naciones Unidas para Formación Profesional e Investigaciones
Учебный и научно-исследовательский институт
Организации Объединенных Наций
معهد الأمم المتحدة للتدريب والبحث
联合国训练研究所

Palais des Nations
1211 - Geneva 10
Switzerland
T +41-22-917-8400
F + 41-22-917-8047
www.unitar.org

